

## 朝日工業グループレポート2015発行のお知らせ

朝日工業グループの事業活動、財務情報、2014年度における環境活動、社会活動をみなさまにわかりやすく報告することを目的として、朝日工業グループレポート2015を発行いたしました。

詳細につきましては、朝日工業ホームページに掲載しております。

URL

<http://www.asahi-kg.co.jp/>

■レポートのダウンロード

<http://www.asahi-kg.co.jp/ir/library/annualreport.html>

■環境活動、社会活動の詳細

<http://www.asahi-kg.co.jp/csr/index.html>

## 朝日工業株式会社

〒170-0013

東京都豊島区東池袋三丁目23番5号 Daiwa東池袋ビル

TEL : (03)3987-2161 FAX : (03)3987-5326

URL : <http://www.asahi-kg.co.jp/>

Email : [asahikg@asahi-kg.co.jp](mailto:asahikg@asahi-kg.co.jp)

## 株主のみなさまへ

「始動」

株主のみなさまにおかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

朝日工業グループの2015年度第1四半期の決算情報をお知らせいたします。

当第1四半期の売上高は9,884百万円（前年同期比+31.8%）、営業利益358百万円（前年同期▲462百万円）、経常利益400百万円（同▲418百万円）、当期純利益362百万円（同▲672百万円）とすべての項目で利益計上となりました。

当グループは、年度当初に策定したアクションプランを着実に実行することに加え、新たな販路の開拓にも着手してまいります。

一方、資金計画については、この第1四半期の実績を金融機関に説明しながら、年度を通じた安定した資金供給についてのご協力もお約束をいただいております。

また、事業所・工場単位での従業員との対話も開始いたしました。

第2四半期は、鉄・農業共に不需要期に入り、工場の定期修理など生産はややペース・ダウンの時期になってまいります。本格的な需要期への大切な準備期間として、着実な活動を続けてまいります。

株主のみなさまには、引き続き一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2015年8月

代表取締役社長 村上 政徳

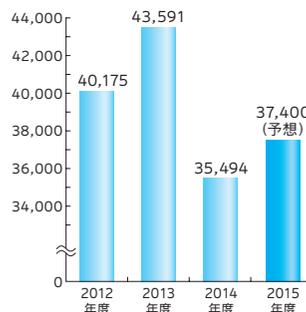
## 2015年度第1四半期累計期間 連結実績・通期連結業績予想について

(百万円)

	第1四半期 連結実績	通期業績 (予想)
売上高	9,884	37,400
営業利益	358	1,650
経常利益	400	1,500
四半期(当期)純利益	362	1,400
1株当たり四半期(当期)純利益(円銭)	51.84	200.00

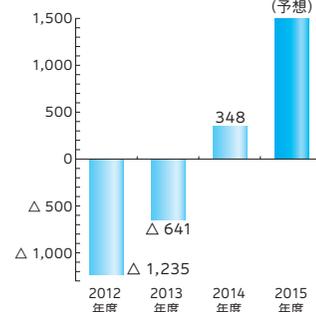
### 売上高(百万円)

■ 通期 ■ 通期(予想)



### 経常利益(百万円)

■ 通期 ■ 通期(予想)



## 2015年度第1四半期連結財政状態

	総資産 百万円	純資産 百万円	自己資本比率 %
2015年度 第1四半期	27,624	6,484	23.5
2014年度 期末	27,938	6,028	21.6

料金後納  
郵便

## 2015年度第1四半期累計期間について

### 鉄鋼建設資材事業

鉄鋼建設資材事業の業績に影響を与える建設需要は、比較的堅調な水準を維持したものの、建設工事着工遅れが引き続き発生しております。

このような状況の中、販売面では、昨年6月19日の操業再開後、積極的な営業活動を展開したことから、建築・土木物件での受注量が増加し、販売数量が回復した結果、前年同期と比べ増収となりました。利益面では、製品販売価格の維持と販売数量の確保に努めたこと、鋼塊（ビレット）の自社生産継続ならびにコストダウン活動を引き続き強力に推進したことから、製品販売価格と鉄スクラップ価格との値差（メタルスプレッド）の拡大と加工コストの低減が図れ、前年同期と比べ増益となりました。

### 農業資材事業

農業資材事業の業績に影響を与える肥料需要は、作付面積の減少、農産物価格の低迷による施肥の合理化などにより減少傾向となっておりますが、主食用米の需給改善に向けた飼料用米増産の推進など、新たな農業政策が進行しております。

このような状況の中、主力事業であります肥料事業では、前年同期は消費税増税による前倒し出荷の反動による落ち込みがあったため、当第1四半期連結累計期間は、前年同期と比べ増収となりました。また、家畜糞等の堆肥を原料とした「エコレット」の販売も拡大しました。

園芸事業では、季節の需要を取り入れた企画提案により、ホームセンターでの販売が拡大し、前年同期と比べ増収となりました。

種苗事業では、大玉トマトの販売面での競争激化により苦戦を強いられたことから、前年同期と比べ減収となりました。

乾牧草事業では、販売エリアの拡大と円安の要因により、前年同期と比べ増収となりました。

### 環境ソリューション事業

民間受注は堅調に推移しましたが、官公庁受注が前年同期を大きく下回ったことから、前年同期と比べ減収となりました。一方、外注費の削減などコストダウンに努めました。

### 砕石砕砂・マテリアルリサイクル事業

主力事業であります砕石砕砂事業では、値上げ活動が進んだことから前年同期と比べ増収となりましたが、マテリアルリサイクル事業では、エリア内の解体物件の減少により、がれき類の集荷量が前年を大きく下回りました。

## セグメント別売上高 および セグメント利益

(百万円)

		2014年度 第1四半期実績	2015年度 第1四半期実績
セグメント別売上高	鉄鋼建設資材事業	3,941	5,778
	農業資材事業	2,941	3,495
	環境ソリューション事業	114	103
	砕石砕砂・マテリアルリサイクル事業	488	495
	その他	33	34
	調整額	△20	△23
計		7,499	9,884
セグメント利益	鉄鋼建設資材事業	△491	350
	農業資材事業	246	241
	環境ソリューション事業	△24	△19
	砕石砕砂・マテリアルリサイクル事業	50	25
	その他	△9	△2
	調整額	△234	△237
計		△462	358

株主通信 朝日工業だより 2015年度第1四半期

**朝日工業株式会社** 証券コード 5456  
(JASDAQ)

株主名簿管理人 三井住友信託銀行  
連絡先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行 証券代行部  
電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

●本報告書は2015年6月末時点での株主のみなさまにお送りしています。